

# 直管式

# 吸虫管

# を作ろう！

吸虫管は、小さかったり、つぶれやすかったりする昆虫やクモなどを捕まえるための道具です。簡単に自作できるので、自分に合った吸虫管を作ってみましょう！！



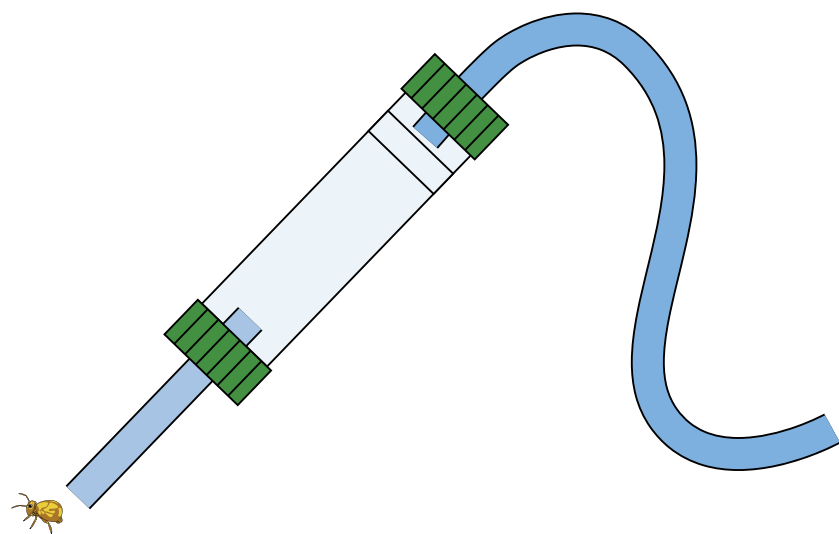
PDF版  
ダウンロード期日  
2025/3/22

## 材料

- ・フタ付きのプラスチック管 ×2
- ・透明なビニールホース
- ・アクリルパイプ (およそ 7cm)
- ・フィルター
- ・透明テープ

## 道具

- ・糸ノコギリ
- ・剪定ばさみ
- ・万力
- ・グルーガン
- ・ドリル または 千枚通し

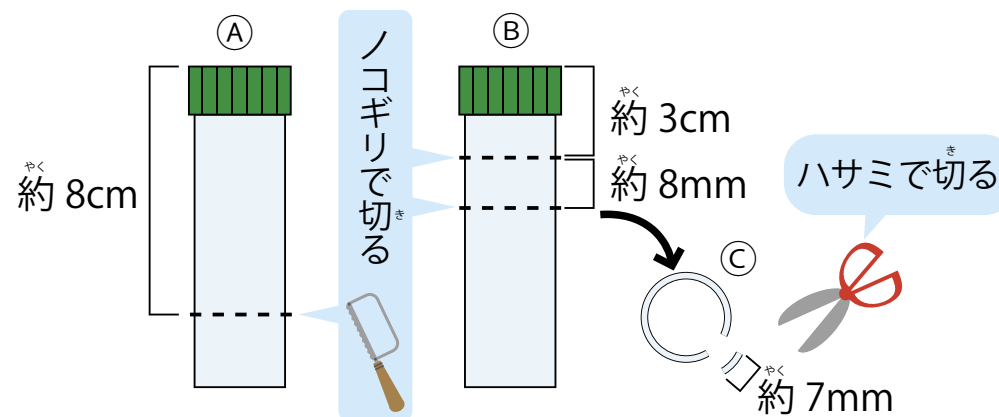


## 作り方

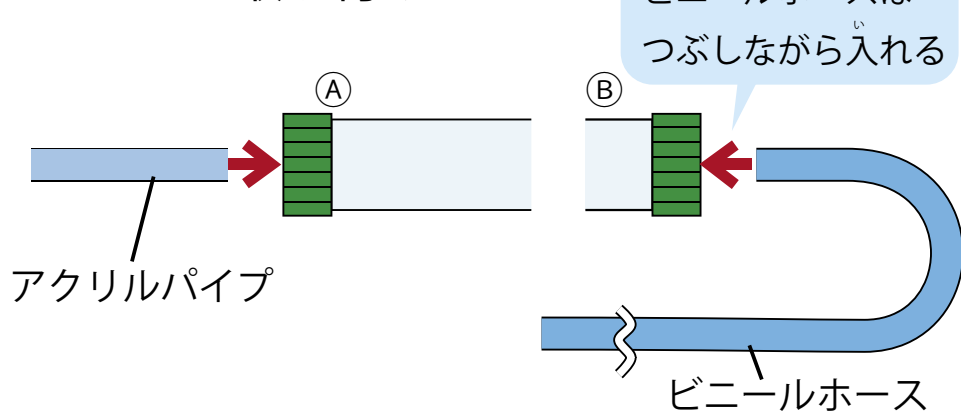
1. プラスチック管のフタに穴を開ける



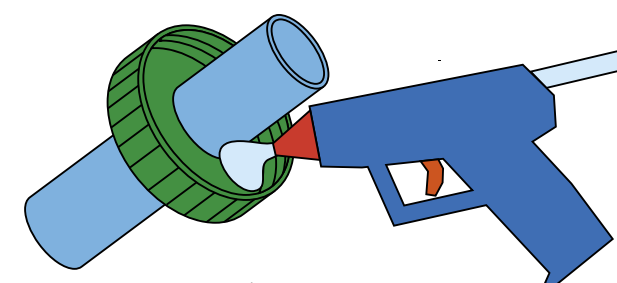
2. プラスチック管を切る



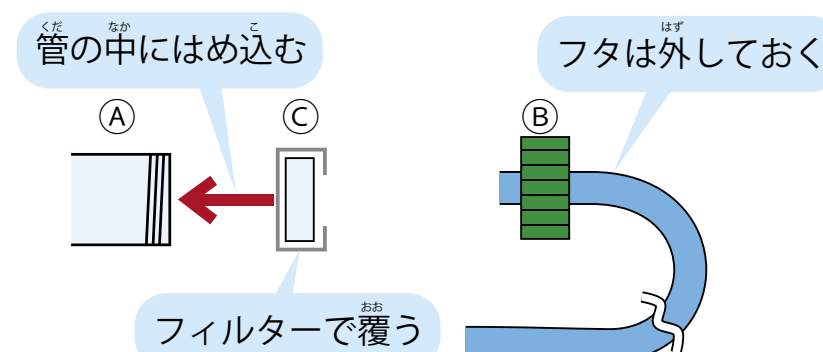
3. ①と②のフタにアクリルパイプとビニールホースを取り付ける



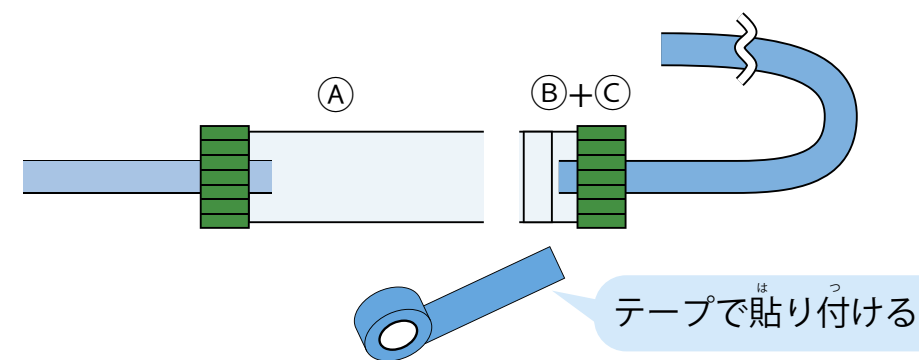
4. グルーガンでアクリルパイプとビニールホースを固定する



5. フィルターを取り付ける



6. 2つのプラスチック管を合体させる



7. ホースの長さを調節して完成！

## 吸虫管の種類

吸虫管はその構造から「直管式」と「二重式」の2つに分けられ、それぞれ長所と短所があります。

### 直管式吸虫管



虫を吸う管と口で啜る管が直列している吸虫管

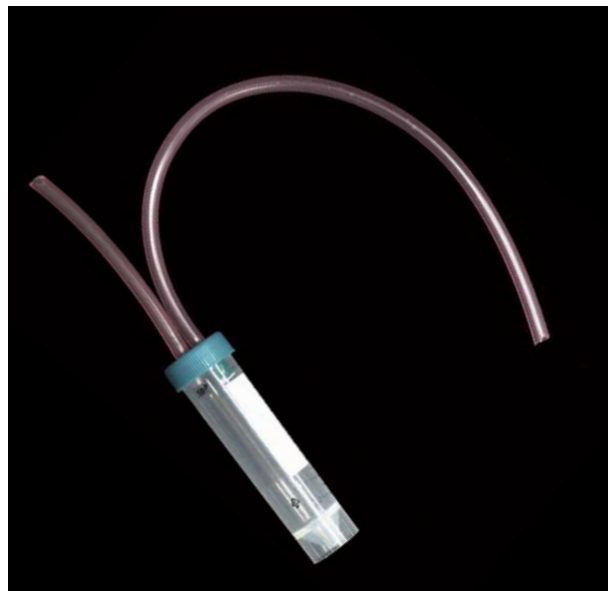
#### 長所

- ・吸引力が強い
- ・体が大きい虫を捕まえやすい

#### 短所

- ・雪上などの湿った場所だと使いづらい
- ・作成が難しい

### 二重式吸虫管



虫を吸う管と口で啜る管が並列している吸虫管

#### 長所

- ・捕まえた虫を取り出しやすい
- ・作成が簡単

#### 短所

- ・大きい虫を捕まえづらい

## 材料の代替品

どちらの吸虫管も自作可能です。家庭にある身近な品物で材料を代替することもできます。

フタ付きのプラスチック管

- ネジ口の食品保管ケース
- ソースディスペンサー

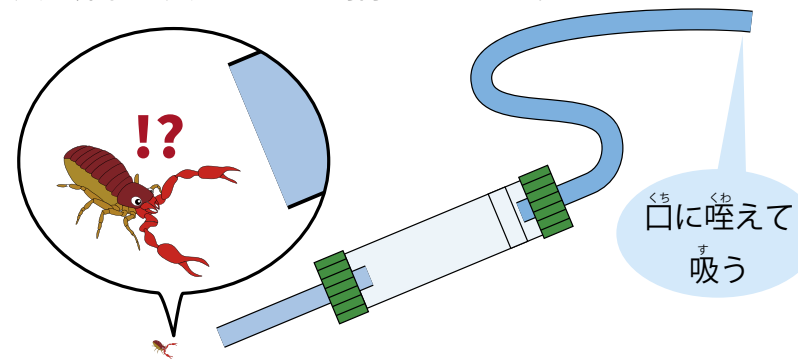
フィルター

- 洗濯ネット など

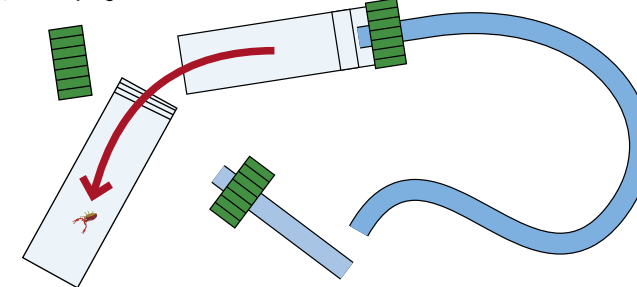
## 吸虫管の使い方

### 基本の使い方

植物の上や地面の上にいる小さな虫を探し、吸虫管で吸い込んで捕まえます。



捕まえた虫は毒ビンや別のケースに移して持ち帰ります。



体がベトベトする虫（ヤニサシガメなど）や匂いを出す虫（カメムシなど）を吸う際は注意！

## アレンジしよう

ストラップを付ける



チューブを長くする



口を細くする



自分の採集対象や採集スタイルに合わせて使いやすく吸虫管をアレンジも可能です。

捕虫網などの他の道具と吸虫管を組み合わせることで採集の幅が広がります。

### 捕虫網と組み合わせる



捕虫網で捕まえてから吸虫管で吸って採集します。小さなハエやハチ、体が脆い昆虫を捕まえる際に有効です。

### 篩（シフター）と組み合わせる



土の中にある生き物を捕まえる際には、土や落葉を篩でふるって、受け皿に落ちてきた虫を吸虫管で捕まえます。

## 使えない場所

動物の糞や腐敗物などに集まる虫を採集する際は口で吸うタイプの吸虫管の使用は避け、ポンプや電動ファン式の吸虫管を使いましょう。



### 手動ポンプ式吸虫管

手軽だが吸引力は強くない。



### 吸虫ガン

写真：有限会社ケイエス技研「吸虫ガン取扱説明書」

電動式吸虫ガンも市販されている。